

図1 ソフトバンク、大学、国土地理院のGNSS観測点統合解析結果。赤丸は気象庁一元化震源 ( $M \geq 2$ , 深さ $\leq 20 \text{ km}$ ) を表す。(a) 解析に用いたGNSS観測点のID。BRから始まる観測点がデータ提供を受けたソフトバンクの観測点。SZOT、SZMS、SZMT、SZID及びSZHK、NTYDは、それぞれ京大防災研と金沢大の観測点。P111と数字4桁は、GEONET観測点。(b) 2023年5月5日の地震( $M6.5$ )に伴う地震時地殻変動ベクトル図(速報暦使用、固定局1158)。赤青の四角は上下変動を表す。(c) 2023年5月5日の地震後の地殻変動ベクトル図(速報暦使用、固定局1158)。5月6-10日から5月29日-6月2日まで。

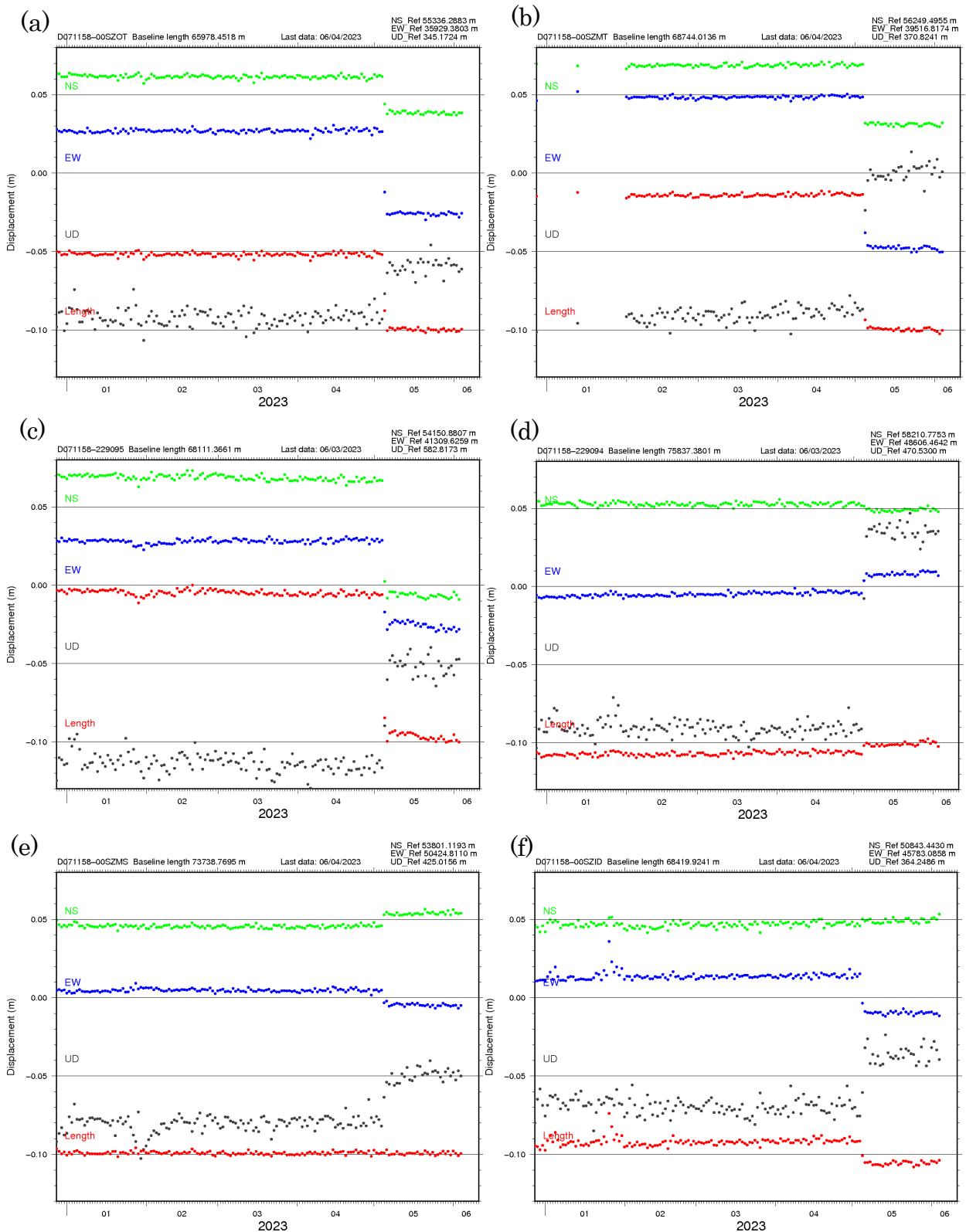


図4 各基線における日座標値の時間変化（速報暦使用）。トレンド補正及びノイズ軽減処理は行っていない。(a) 1158-SZOT。(b) 1158-SZMT。(c) 1158-9095。(d) 1158-9094。(e) 1158-SZMS。(f) 1158-SZID。